



安里 周作 議員

台風6号通過時による一次産業被害状況について

質 一次産業の被害状況を伺う。あと、被害金額の概算は。

答 農林水産課長（平安名 盛常）

農作物の被害は、出荷団体の聞き取りで、約3370万円です。海ブドウ養殖施設が壊れ、出荷調整を行うことから被害額は約2200万円との報告を受けています。パッションフルーツが2万7500円、アテモヤが355万2千円、サトウキビが864万8886円、小菊で、2158万3589円です。

質 被害を最小限にするための指導や対応を伺う。

答 農林水産課長（平安名 盛常）

台風対策マニュアルの普及啓発を行い、また自然災害などによる収穫量の損失減少の補填や、園芸施設被災の補償が対応できる農業共済等の加入

促進に努めていきたい。

台風通過時の停電について

質 停電発生の原因除去を、台風接近前に対応できないか。

答 総務課長（宮平 寛）

倒木や飛来物に起因する停電に関しては事前の対策は可能であると考えています。沖縄電力との情報共有、村または事業所を含め村民の方々とも情報共有を図り、対象物の除去対応ができると思います。積極的に今後進めていければと思っています。

質 停電時に独り暮らしの高齢者や障害のある方に対する対応を伺う。

答 福祉課長（石川 司）

台風接近時また通過後は、電話連絡や自宅訪問を行い、状況を知らせ、台風対策を促し、避難の検討、安否の確認等を行っています。一部の方々は、飲料水並びに備蓄食料を直接配付しています。

台風等の大雨時に氾濫する河川の対応について

質 河川氾濫の可能性のあるところをリストアップしているのか伺う。

には学童クラブ連絡会が予定されていますので、その中で村内5つの学童代表者との意見交換も含めてやっていきたいと思っています。

「高等教育における村独自の修学支援」について

質 修学支援について幅広い層への支援が求められており、この現状も踏まえて執行部の見解を伺う。

答 学校教育課長（仲村 泰弘）

奨学金事業につきましても、今後も状況を見極めながら就学の支援を継続したいと考えています。

質 本村独自の高等教育における修学支援については、奨学金ではなく修学支援金という認識で発言しています。この支援金制度を設けることで学生だけでなく、リカレント教育の推進に大きな効果が得られると考えています。所得制限を撤廃し、幅広い層へ幅広い支援が必要だと思えます。このことを踏まえ教育長の見解を伺う。

答 教育長（宜志富 清博）

国としてもこの修学支援制度を実施しておりますので、リカレント教育、これは必要な施策だと思えます。支援の仕組み、それと財源確保をどの

答 建設課長（屋良 朝也）

宇加地区の与久田川、山田区の東川、中泊区の後川、谷茶区の大港川、南恩納区の勢高排水路、太田区の東排水路、喜瀬武原区の徳首川、7か所把握しています。

質 河川氾濫対策の具体的な対応を考えているか伺う。

答 建設課長（屋良 朝也）

喜瀬武原区の徳首川について、県が整備を行う予定となっております。与久田川は宇加地川と連携を図り、台風前などに点検を行い、清掃を行っています。南恩納区の勢高排水路は上流の土地改良区側からの雨水量を抑えるため、沈砂池の清掃を行っています。中泊区の後川は、県が造った排水路に流れ込まないので、そこに分散し、後川への流出を抑える計画をしています。

台風通過後の海岸域の対応について

質 台風通過後の漂流物の除去や防風林の倒木処理を行っているか伺う。

答 建設課長（屋良 朝也）

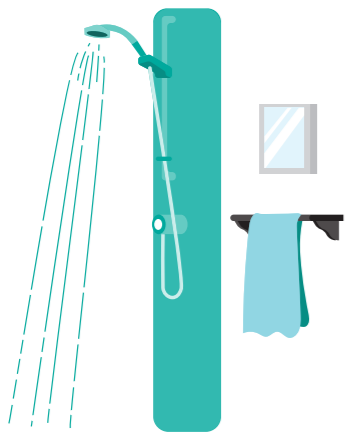
台風が長期化したことで除去作業が遅れている。優先順位をつけ除去を行いたい。

海浜公園におけるコインシャワー施設の増改築について

質 利用者の満足度向上のためにも施設整備は必須であると考えます。今後の海浜公園におけるコインシャワー施設の増改築について執行部の見解を伺う。

答 農林水産課長（平安名 盛常）

村ではコインシャワー施設の増改築の必要性を認識しており、令和3年度に基本設計を行っています。今後のスケジュールとしては補助事業活用による財源確保の調整等により遅れが生じることもありますが、令和7年度に実施設計、令和8年度に増改築本工事を予定しています。



答 農林水産課長（平安名 盛常）

台風通過後、職員で処理できない倒木に関しては業者に依頼しています。緊急性がある場合は早急に対応をしたい。それ以外の倒木に関しては一括交付金事業により危険木剪定除去を行っていききたい。

質 海岸のごみ対応は。

答 建設課長（屋良 朝也）

大きいのは、最終処分場に持っていきます。

質 台風通過の管理計画が必要と思うが当局の考えを伺う。

答 建設課長（屋良 朝也）

状況を見ながら対応していきたいと考えています。計画はありません。

質 自主的に自らごみ拾いを行っている方たちがいます。村が協働したらと思います。答弁お願いします。

答 建設課長（屋良 朝也）

ボランティアの方々に変感謝申し上げます。ごみを道の近くまで持つていって、連絡をいただければ建設課のほうで回収に行きます。名前を聞いて表彰できればと思っています。

宿泊税（観光目的税）における税率及び収入配分について

質 今後予定検討されている県と本村との宿泊税における税率、収入配分について伺う。

答 商工観光課長（親泊 誠）

現在、県とは具体的な話し合いは実施していませんが、配分比率につきましては、「コロナ以前の調整において、県と村の比率を5対5。2000円であれば県が1000円、村が1000円というふうな合意がなされている状況です。今後の検討につきましては、現時点では未定ですが、情報共有を行い調整していくことと認識しています。

提 自治体の主体性を持った観光振興策の推進を行うには、この収入配分では不十分であると考えています。県よりも各自治体へ多く収入配分をするような配分率が望ましいという関係有識者の方へのヒアリング調査でもあったとおり、私自身が考える独自性の高い、世界的に見てもレベルの高い観光立村を目指していくためにも、執行部には「県25%、村75%の収入配分の配分率」を県へ要請していただき、恩納村独自の観光振興策を推進していただければと思います。

台風6号における農林水産業の被害状況及び村独自の支援策について

※前段の議員と内容のほうが重複しているため省略。



宮崎 匠 議員

「朝の子どもの居場所づくりリモデル事業」について

質 今後の地域、学校、行政の意見交換等の場で本事業の推進について検討いただきたいと考えますが、本事業における各機関との意見交換及び検討等に対する執行部の見解を伺う。

答 福祉課長（石川 司）

今後は幅広く子育て環境についての地域のニーズがどれくらいあるのか調査をし、学校教育課と連携し分析していきたいと考えています。また、今月末